

# 第七回

## 最先端医療イノベーションセンター

Center of Medical Innovation and Translational Research  
定例セミナー

Academia

Government

Industry

# 2016.6.29 (水)

## 18:00-19:00

於 最先端医療イノベーションセンター棟  
1F マルチメディアホール

### 「iPS細胞を用いた心筋再生治療の現状と展望」

宮川 繁 特任准教授 (免疫再生制御学共同研究講座)

重症心不全に対する究極的治療は、現在では心臓移植や補助人工心臓であるが、ドナー不足や耐久性の面で大きな課題がある。これら置換型医療に代わる再生医療として、当科ではこれまでに自己骨格筋・筋芽細胞シートを開発し、昨年薬事承認を受けた。現在、さらに治療効果の高い移植細胞源として、iPS細胞から分化誘導した心筋細胞シートを用いた心筋再生治療の開発に取り組んでいる。ヒト臨床に向けてクリアすべき課題と現状、および見通しについて述べる。

### 「プロスタサイクリンアゴニストを用いたCell-Free型再生医療の重症心不全への応用」

福嶋 五月 助教 (心臓血管外科学)

当科では自己骨格筋芽細胞シートを用いた細胞移植による心臓再生医療を、基礎研究から治験に至るまで縦断的に開発してきた。その中で、内因性の保護作用のあるサイトカイン群が心臓において強発現しており、これが作用機構の核であることが明らかとなってきた。そこで、より汎用性の高い再生医療として、細胞を用いずにこれらのサイトカイン群を上昇させることで心筋を再生させる薬剤を開発中であるので、医師主導型治験に至った経緯を交えて報告する。

座長：齋藤 充弘 特任准教授(未来細胞医療学共同研究講座)

お問い合わせ先  
最先端医療イノベーションセンター事務室  
06-6210-8201 i-sentaninobe@office.osaka-u.ac.jp